

どんぶり

浅黄斑
あさぎ

まだら

とおる

絵・犬童徹
いんどう

△作家▽

どんぶりとは、果たして料理の名なのか、器の

名なのか。なぜ丼と書くのか。いったいどんな謂わがあるのか。

前回、そんなことを予告してしまったので、今回はそれについて書きましょう。結論を先にいえ、どうやらこれは器の名であるらしい。どんな器であるかは今さら説明する必要もないでしょう

が、まずは陶磁器で、ご飯茶碗三倍ほどの分量が入る。そしてここが大切なのが、蓋がついている。ついてなければ、どんぶりではなく、ただの鉢ですね。つまりはこの丼鉢を使った料理が、丼物と呼ばれるわけです。

さて、この料理が初めて登場するのは江戸時代も半ばを過ぎてからです。なぜ、そんなことが分かるかというと、そのころの文献によくこれが登場してくる。当時は、あまり品のよい料理で

はなかつたらしい。

たとえば天明一年というから、二百二十年ほど昔のことですが、ある旗本が料亭の主人を招待して出した献立書きに「南蛮染付どんぶり」と書かれている。これなど、かなり古い記録なので、だいたい我が国にどんぶりが登場したのは、この頃からのようですな。

つい理屈っぽいことを書いたついでに付け加えれば、この頃まで、我が国に「丼」などという漢字は使われたことはなかった。ええーっ、と思われるかもしれません。でも、もちろん中国にはこの文字があつて、テン、とかタンと読まれていた。漢字というのは表意文字ですよね。つまりこの文字は、井戸の中に小石を投げ入れた状態これを、日本語として表現すれば、「ぼちゃん」とか「どんぶり」と読めるわけです。つまりは、



どんぶりに当たる漢字に丼を持つてきたわけです。となると、まず、どんぶりという名の器があり、それに丼という字を当て、さらにはその器を使つた料理が現在あまたある丼物の基となつたという理屈になります。さて、このミステリーをどう読み解くか。

話は代わりますが、先日、ご近所の武本さんがタイ旅行に行かれて、おみやげをいただきました。それはタイシルクのハンカチでしたが、その包装紙に「ジム・トンプソン」の名が印刷されていました。シルク王とも呼ばれるこの米国実業家が、キャメロン・ハイランドの密林で謎の失踪を遂げたのは、一九六七年、未だにその行方はわからまへん。同氏が元CIAの前身だった OSS 職員だったこともあり、さまざまな憶測を呼んで、かの松本清張も「熱い絹」という長編ミステリーを書いております。

さて、トンプソン氏のプライベートコレクションに、ペンチャロン焼きと呼ばれる膨大な陶器があります。そして、このペンチャロン焼きは、現在もタイ中部のトンブリいう町で作られているのです。そして、このペンチャロン焼きは、現在もタブリ勘定とか、母親も娘にも手を出す親子ドンブリなんて言い方もありますがね。

さて、謎は一気に解決に向かいそうです。この

トンブリという町の綴りはTHONBURI、もしくはDHONBURIですから、ああ、これこそまさに、どんぶりではありませんか。

江戸時代半ば、タイはまだシャムと呼ばれていた頃です。その頃、五色のベンチャロン焼きは海を越えて、我が国にも伝わったのではないかでしょうか。先に紹介した文献の中に「南蛮染付どんぶり」と書かれているのが、それを匂わせます。カンボジアからきた野菜がカボチャと呼ばれたように、トンブリからやってきたベンチャロン焼きは、どんぶりと呼ばれることになったのではないでしょうか。

これまでには、なんでもごっちゃに放り込むタン袋からどんぶりになつたという説が多かつたのですが、どうもこっちが正しそうに思えます。確かにどんぶりには、なんでもかでも一緒にたにするドンブリ勘定とか、母親も娘にも手を出す親子ドンブリなんて言い方もありますがね。



■浅黄斑（あさぎ） まだら（推理作家）。一九四六年神戸市生まれ。西神ニュータウンに在住。一九九一年小説推理新人賞。一九九五年日本文芸家クラブ大賞を受賞。日本文芸家協会・日本推理作家協会などに所属する。日本文芸家クラブ河西支部長。「さよなら風ふきすぎる」「ちゃんとがれ西鶴」「櫻島殺人海流」「トカラ海上殺人前線」など著書多数。

さりげなく

出石アカル

絵・菅原 洸人

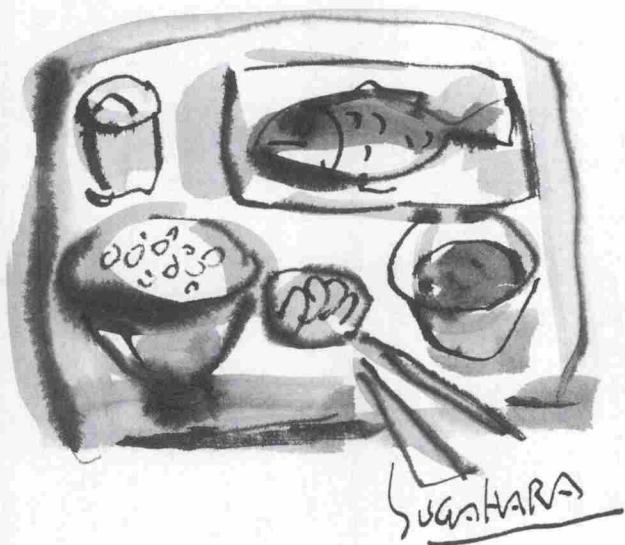
北側に小学校、南側に殺風景な酒蔵が連なるだけの、ほとんど人通りのない淋しい道にわたしの店はある。

15年前、ここで喫茶店を始めると言った時、知人が「どうかしたん違うか、こんなところでやって行ける訳ないやんか」と言ったものだ。

どうかしてたのである。常識的に考えて、この場所でこの商売が成り立つとは思えない。それが不思議と15年間である。お客様がお客様を次々と連れて来て下さって。だからほとんどが常連さん。それでも時に、迷い込むようにして一見さんが見えることがある。

申し訳程度の窓しかなくて、通りから店内の様子を伺うことは出来ない。

入り口がちょっと変わっている。表の扉を開けると、まず半坪ばかりのスペースがある。すぐに店内ではないのだ。お客さまはコーヒーだけを飲みに来られるのではない。時間と空間をも楽しみ



に見えるのである。そのためのワントクション。日常のほこりのついた心を濾過するスペースだ。正面に絵が飾ってある。ここで左を向いて、もう一つ扉を開けてもらう。「ハイ、いらっしゃいませ」

* * *

おや、初来店の老夫婦。入り口でえらく手間取つておられる。段差もあって、確かにややこしい入り口ではあるが、もたつきようが気になる。分かって。ご主人の目が不自由だったのだ。白髪に薄いサングラス。ちょっとと頑固そうな人である。スクスク姿ではあるが上品そうな奥さまが、歩き始めた幼児をあつかうように、手を貸しておられる。近い席に着いて定食を注文されたのだが、食事がこれまで大変。奥さまがそれは懇切に食べさせておられる。手を取つて、みそ汁はここ、漬物はここ、ご飯はここよと、それは優しく教えながら手間をかけて。まるでその時間を楽しむかのように。

その様子を見て、てっきりわたしは、失明されてしまう間がないのだと思つてしまつた。しかしうつかり尋ねては失礼かと思い、しばらく様子を見ていたのである。ほかの用事をしながらチラチラと。それにしてもいかにも手元がおぼつかない。ついにわたしは、「最近不自由になられたのですか?」と尋ねてしまつた。続けて、ねぎらいの言葉をかけようかと思つて。

初めてのお客さまには、何か話すきっかけがほ

しいのである。仲良くなりたいのである。と言うより、その辺りの空気を和ませたいのである。初めての店は、お客様にとつても気遣いなのだ。「ええ十五年ばかり前に。縁内障でね」と、つとめてさりげなく奥さま。

「途中失明は困ります」とこれもさりげなくご本人。

しまった、余計なことを聞いてしまった、恥をかかせてしまった、と思ったがもう遅い。多分ほかでも同じような思いを度々されただろうに。

出て行かれる時にまた、手間取つておられる。奥さまが優しく細かく気遣つておられる。この優しさが、ご主人の独り立ちを妨げているのではないかとも思うのだが、それはそのご夫婦の生活である。15年間もそうして来られたのだ。第三者が口を挟むことではないだろう。ましてや喫茶店のマスターごときが。

「また来ます」と帰つて行かれたが、多分もう来てはいただけない。

喫茶店のサービスは、肝に銘じて、さりげなくさりげなく。

お一人のときは

息づかい今までが気にかかるて

新聞をめくる音を

わざと大きくしたりする。

(一見さん・アカル)

いすし・あかる 43年兵庫県生まれ。「風媒花」「火曜日」同人。兵庫県現代詩協会会員。詩集「コヒーラカップの耳」(編集工房ノア刊)にて、2002年度第31回ブルーメール賞文学部門受賞。

岡本真穂

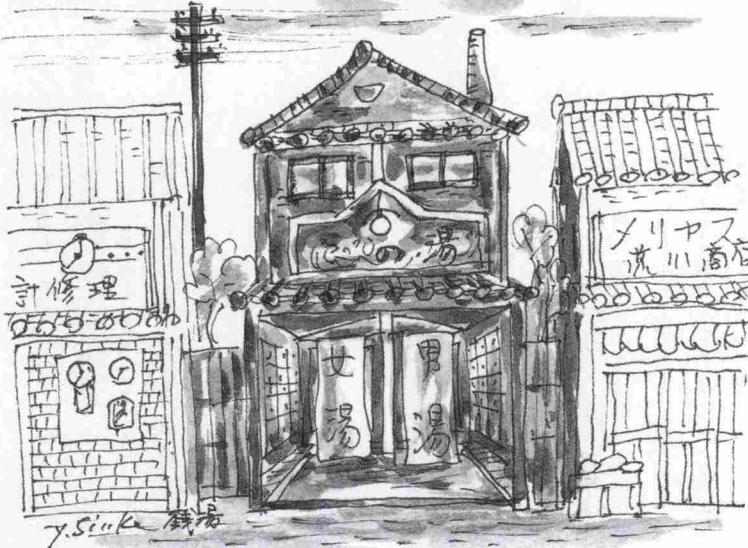
絵・新家保夫

もちつき

とみの水上生活は、決して最初思ったより楽しいものではなかった。船酔と中腰での生活は、働き者の明るい生活のとみも時々無口にさせた。

とみは生れてこのかた、赤子を連れて街中の風呂屋に行つたことがなかった。大阪で働いた時も会社の中にある社長夫婦の後湯をもらうのが常であつたし、水上生活者のほとんどは船の中で湯に入るということはなかった。荷受けに行く時は家族共々移動することが多く、荷受けのない時を見計らって女達は近くではないが歩いて行けるみなと湯へ行き、子供達と必要以上の時間を過した。女や子供にとってこの上ない幸せな時間でもあつたようだ。

神戸に来て一週間程、とみは湯を沸かして茂や自分の身体をふいた。順一は茂を連れてみなと湯に行くことをすすめたが、とみは「解った」といったものの、何度も茂と風呂屋の前に行つては帰つて来てしまうのだった。とみにとつて大きな風呂屋に入ることすらためらうことであつたし、佐柳島の母の家でも



一度も茂をタライの中で洗ったことがなかった。怖さと不安は必要以上にとみを不安にさせた。

ある日とみは、今日はどうにか風呂に入ろうと決心して、みなと湯の前に立っていた。

「このおばちゃんや」

小さな男の子がとみに指さして母親にいった。

「健、このおばちゃんて何のこと」

男の子の母親としては少し年を取っているように見えたが、さっぱりとした声で男の子に聞いた。

「あめ落した時、このおばちゃんが白いあめくれた」

母親にまとわりつくように母の腰をつかみながら恥ずかしそうにいつた。

「まあ、そうね。ありがとうございました。おばちゃんやなんて、若い人にすみません。あんまり見ませんけど船の人ですか、若いのに赤ちゃんと連れて大変ですね。」

人の良さそうなその母親は男の子を風呂に連れて来たのか、小さなバケツのような物にタオルをのぞかせてとみにいた。

とみは、風呂の入り方を知らないといえず小さくうなずいた。

「一緒に行きません、赤ちゃんを風呂に入れるのは慣れているから、手伝つてあげる。」

明るい声で人の良さそうな母親は、とみの様子を察したのか、力強くいった。

この人は九州出身の女性で金子といい、言葉尻のはつきりした細めの美人で、神戸での生活は長いのだといいながら、健にせかされるように風呂屋に入り、下駄の入れ方から、木製の扉の鍵のかけ方まで教えてくれた。

久しぶりにとみは身体が軽くなるのを感じた。健の母親を神様のように思え、その日から、とみにとつて何事も相談できる母親のような、姉のような大事な人となつた。

みんなと湯ははしけから元町三丁目の方向に歩いて元町本通りに出るまでにあつた。この温泉マークは水上生活者のかけがえのない場所となっていた。もちろん、地元の人も利用するのは当然のことであつたが、その周辺は小さな店がいろいろあって、男達にとつて帰りに飲むビールは

欠かせない物となつてゐる。とみもまた綾に教えられるままに、店先をのぞいて帰ることもしばしばあつた。

しばらくして元町六丁目近くにある元町温泉という所にも綾と一緒に行くことがあつた。のように不安に怯えていた風呂屋通いも今は嘘のようとにみの心をほぐしていた。

茂はすぐすくと育つていった。そして、とみにとつて初めて迎える正月の準備の時が來た。

当時のはしけは活氣があつた。一番始めて順一から渡された注連飾りの置く場所にもこまつた。水上生活者の正月はどうのように迎えるのか、とみにとつてすべてが初めての経験であり順一のいわれるままに働いた。はしけの人達は正月に帰省する人は少ないらしく、盆の帰省の静まりかえつた様子とは違い、何となく華やかな様子がただよつてゐる。

とみの来たせいもあつたのか、順一の船で正月の餅つきが荷積みの場所でするのだといわれ、とみは船の上でする餅つきなど想像が出来なかつたが、それでも田舎の母から送られたあずきを炊き、餅米を大きなコンロの上で蒸し準備をすすめた。綾も手慣れた様子で暖を取るために用意されたコンロの上で干物などを焼いた。綾の家族、順一の遠縁になる浜ちゃん、日新運輸の仲間などがにぎやかに「升瓶をさげて集まつて來た。大晦日の海は漁場でもないのに大漁旗がにぎやかに飾られ、とにかく街中では見られない風情があつた。

あちらこちらの船から、正月用の魚を焼いたり、煮しめを作つてゐるのかいつにない匂いが港にただよつてゐる。

逞しい男達によつて見る間に餅つきは終つた。大根おろしで食べる人、とみの煮たあずきをからめて食べる人、船の上の寒さなどこの場所には心配ないようである。とみと綾は船に供える鏡餅を何組か作つたあと、酒盛りの準備に入つた。カマボコ、黄色いタクアン、玉子焼、今様のオードブルのような高級感はないが、するめをほおばる男達の顔には屈託がなかつた。見る間に一升瓶が空になつた。次から次へ男達は一年の勞を犒うよう飲んでは唄つた。順一も今はやりの「有楽町で逢いましょう」を唄つた。黄色いサクランボアンアンと合いの手を入れてふざけるような唄声が夜遅くまで続いた。どの船も灯りは朝までついていた。さながら今のルミナリエである。波の静かな音と木造船のゆれる灯りは今の神戸で見ることはない。初詣を約束して三々五々集つた

人達はにぎやかに持船に帰つて行つた。

順一のいわれるままに、とみは十二時の時を待つた。十二時になると大型船が一斉に汽笛を鳴らす。ボー ボー その音はうれしいのか、悲しいのか、解らないようなうなりのような大きな音でとみの耳を覆つた。

「おめでとう」

順一は佐柳訛りでいった。

「おめでとうございます」

とみも順一と結婚して初めて祝う新年の挨拶を少し茶目っ気にいった。

順一は「さあ行くよ」と、またとみに次の行動を急がせた。

「何ね」

とみは、客達が帰つた後片付けもしていないのにどこへ行くのかと少々疲れた顔でいった。

「正月の新しい着る物を買いに元町の高架下まで行くんだ」

順一は当然のようにいった。

一般的の家庭では除夜の鐘のなる前にすべてのことが終つていなければならぬ風習があった。古い物はすべて洗い、食べる物はすべて用意され、元旦は何一つすることなく祝いのみのおごそかな一日を用意するのだった。着る物はもちろん、除夜の鐘を聞いてから買いに行くなどということは論外であった。しかし生活の知恵は水上生活者の中に誰いうとなく伝わっていた。

とみはいわれるままに茂を背に負い順一と歩いて高架下の人となつた。びっくりするような人の流れである。初詣をする人達なのか三宮から湊川神社までの間は若い人達がにぎやかに通り過ぎて行く。とみは昼のような活気のある高架下の店に目を見張つた。順一は得意そうに店々を廻つた。一番贅沢のできるときでもあった。すべての商品は半額か売り切り値段になつてゐる。二人は子供から二人の分まで安く買うことが出来たのに充分満足している。二人の両手には幸せな品物でいっぱいである。

「うどん食べるか」

順一は高架下にある小さなうどん屋に入った。順一はうどんから始まつてもう一つ何か食べる程元気であつた。



とみは赤飯と書かれた紙に佐柳の母を思い、いわれるまでもなく赤い赤飯を注文し、おいしそうに食べた。安物の色のうすいお茶であつたが餅米のねばりと少しふられた塩の味はとみを幸せにした。両手にいっぱい持った品物は家いや船に帰るまでに逢つた見知らぬ人達に陽気に挨拶する声にも出ていた。幸せなとみであった。

船に帰ると三時間程前まで賑つていた船上の残がいを見ながら、茂を船底の部屋に寝かしつけた。順一もうどん屋のビールがまわって来たのか、とみの後から降りて來た。

「ええか」

茂の横に横たわりとみの手を引いた。若い二人の新年の契りは静かにきしむ船のゆれと共にひとときの快楽の時を作った。

とみは乱れた髪の毛を手で整えると船上の荷積する場所へと上つていった。順一は、少しの酒の酔いと女を抱いた満足感からかひとときの眠りについた。

とみは飾り餅を白い紙にのせると、船先の安定した場所に供え冷たい空気を吸つた。とみの身体も先程の出来事でまだ燃えているような暖かさが残り、仕事も男に抱かれた満足感からか陽気にはかどつた。船々の灯りをうすめるように夜が明けてくるのが見えた。

とみは母が作つていた雑煮をとみ流に作り順一の目覚めを待つた。茂は朝の出来事を知ることもなく、元気な泣き声で母を呼んだ。

「お乳が欲しいの」

とみは優しい母の顔をして茂に話かけた。

順一は夢の中なかまたとみの手を強く引きよせようとした。

「茂が見よるよ」

とみは順一の顔をまたとみに見られない恥ずかしさを茂のせいにしながらまだ覚めやらない身体のほてりを身体全体に感じていた。



はむせるような母の乳を元気よく飲んだ。順一は幸せな父親の顔をして、浅い眠りのまま横にいた。

とみは茂に早朝に買った正月用の着物を着せ、前掛けのようなエプロンを着せ、とみは買ったばかりのエンジ色のセーターに黒いスカート、イミテーションのパールのついた花のコサージュを胸につけてうつすらと口紅もつけた。しばらくして、健ちゃんの声が飛び込んで来た。

「おばちゃん、湊川へ行こう」

健の声もいつになくはしゃいでいるような元気な声で、続いて綾達夫婦が陸で待っていることを知らせた。順一も上の様子を察したのか、眼そうに一番上等の背広にジャンパーを着て出て来た。とみも大きな格子のコートを着て祝雑煮もほんんど口をつけずに陸へと上がつて行った。そこには、餅つきをした仲間も寒そうに立っていた。綾だけが着物を着て白い羽根の髪飾りをつけていた。神社までにぎやかに歩いて行くのだ。元町から神戸駅の方まで、十一時の神戸は晴着姿の人達で賑わい、元町通りのウインドウも美しく掃除され、神戸ならではのハイセンスはワンドウディスプレイがきわだつて華やかに見えた。

楠公さんと呼ばれる湊川神社も人であふれ返っている。日本髪を結つた人も目立ち、ビロードの衿巻きが衿足の寒さを感じさせないよう、いきに着物の衿にそつて巻かれている。中にはきつねやうさぎの衿巻が顔を覆っている女性もいた。とみ達は方言で大きな声で話しながら本殿にうやうやしくお参りをし、おみくじに一喜一憂し、子供達に好きな物を買い与え、船の安全を祈願した札を買って湊川神社を後にした。とみにとって忙しく、うれしい正月であった。

(続く)



岡本真穂（おかもと まほ）
詩人。関西文学同人、関西詩人協会会員、神戸異分野交流会会長。著書「詩画集 花野」「御影」。



★毎月楽しみに読んでいます。神戸の歴史やイベントの紹介など勉強になる事や情報などがたくさん書いてあるのでお気に入りです。

(芦屋市・松村洋子)

★「神戸っ子」は会社で購入しているので、毎月楽しみに読ませて頂いておりまます。今月号はいつもより内容が濃いように思えて読み終えるのにかなり時間がかかりました。昔の神戸の事を知らない私でも歴史を感じれる、神戸の事が好きな「神戸っ子」だからこそだと思います。

(西区・中澤久美子)

★タレントの佐川満男さんや、漫才師のちゃらんぱらん大西さんの、個性豊かな絵画を見て、私の学生時代ドロドロになりながら、油絵や彫刻に没頭していた頃を思い出しました。今は専業主婦ですが、フツフツと制作したいなアという気持になってしましました。

(明石市・安岡陽子)

にて』をテレビで毎回楽しんでいたので、中西氏、大西氏ら三人のお話しを楽しく読ませて頂きました。佐川満男氏の絵はほのぼのとして心が暖かくなりますね。(西区・大橋ます子)

★佐川満男さんが近くの塩屋の出身とは思いませんでした。これからもがんばってほしいと思います。

(長田区・影山たか子)

★ちやらんぱらんの大西浩仁さんの絵、すごく気に入ってしまいました。特に太陽の絵なんて部屋に飾れば見る度元気になれそうです。

(須磨区・谷本周子)

★とてもたのしく拝読しています。神戸の有名店の事がよくわかつたの嬉しいです。参考にしてショッピングしています。

(三田市・西村千枝子)

★3月3日神戸っ子祭バーティでは、私久しぶりに外出してモヤモヤ病を忘れ気分スカッとしたしました。行く道中、ラッキーなことに港の豪華客船を車から見ることが出来ました。アア神戸やなど、じんじんうれしく、今も風景思い出します。パーティでは島京子先生に、持参の本にサインしていました。

き、私なりに収穫がありました。ええ会やったね。感謝。

(東灘区・那須くすこ)

★最近日本酒に興味がでたので、酒特集の記事を樂しく読ませて頂きました。神戸に住みながら灘のお酒の事はあまり知らず大変勉強になりました。

(兵庫区・宮崎友美子)

★テレビで見て大好きな神戸の月刊誌がある事がわからなかなか見つからず娘にたのんで見つけてもらいました。これからも楽しみにしておりますのでよろしくお願いいたします。私の青春は神戸でした、おこづかいをためては神戸に行く事が樂し

(八尾市・橋本キミ子)

★以前、芦屋にある田中千代服飾専門学校へ通つておりました。先生の随想をとてもなつかしく読ませて頂き、今でもお元気にしておられるのではないか?と、つい思つてしまい淋しくなつてしまっています。又、ファッショングエアーの様子を見

(東灘区・西盛天香)

★「ひと未来館」オープンのレポートありがとうございます。是非子供をつれて行きたいと思います。「人と防災未来センター」がでました時は、何かいやな思い出を思い出しそうで、こわかったのですが、「ひと未来館」ができたので、なんだか行けそうな気がします。これからも先取りした情報をよろしくお願いいたします。

(三木市・稻岡礼介)

★神戸のママたちのコーナーで、私達がまず接点のないクラブのママたちのお客様に対する接し方、会社でいうなら上司の立場で見た女

の子(会社なら社員)の教育についてを語つてらっしゃる事は、私達会社員にも通じる所があるなと思い、感心させられました。

(垂水区・大塚理妙)

★神戸っ子賞受賞の事を全て読み、自分も自分の道をきわめ、そして地域に貢献しなくてはと強く思い、そんな機会を与えてくれた月刊神戸っ子に感謝します。

(篠山市・正元婦美子)

田辺聖臣 陳舜臣
佐藤廉 佐藤廉
森實勉 一
浅黄斑 新井満
石阪春生 今井啓介
鶴殿ようこ 榎本靖子
王柏林 大崎泰三
岡本真穂 大木本美通
大木本美通 加藤隆久
北大路栄園 小島知光
榎晴夫 佐野漣箕

青木重雄
荒川克郎
有澤武
安藤忠雄
浅木幸雄
浅木隆子
天野桂子
石井亮一
伊勢田史郎
今津奈加子
井戸敏三
市野弘之
井植貞雄
伊研一
伊庭文子
石野順子
市村礼子
岩間流夫
稻田勝巳
樺木茂男

上島達司
鶴殿麻里絵
内田健司
内田邦子
馬野英子
榎本重夫
大庭浩
岡田美代
奥村孝
小田俱義
鬼塚喜八郎
貝原俊民
原定六一
柏井健一
加藤義雄
角本稔
嘉納毅六
嘉納邦子
加納勝
川上勉

川瀬喜代子 嘉本楨夫 上林英一
木口衛 木下章夫 木下健
小室豊允 上月倫子 雀部昌吾
笹山幸俊 雀部虎四郎
佐藤純子 佐藤悦枝 福田誠
鈴木幸子 下村俊子 霜寄敏文
末次攝子 佐野漣箕 島田誠
妹尾美智子

瀧川博司 田崎俊作 龍口篤夫 井端基宏 筒井康隆 釣秋桜 寺本滉 中内功 中内力 永田典子 中野肇 長澤昭 長澤唯人 滝本リツ子 成瀬香梅 難波還 西村功 西崎敬四郎 新野幸次郎 野澤太一郎

坂東慧 坂東節子
坂野惇子 東村衛
広野幸助 福富震一
福原初子 福原初子
藤田浩司 藤間莉佳子
藤本統紀子 藤原明子
宝地院 堀本恵子
牧冬彦 松井高男
南和恵 宮崎幸三
光葉貞雄

村上和子
森喬一
森代子
百嶋俊郎
矢田立郎
山田弘
大和久芳
行吉哉女
山森大雄美
吉島淑子
林同春
蓮春秋
若林輝雄
若柳吉金吾
神戸青年会
神戸商工会
神戸百店会

★42周年を迎えた月刊神戸。つ子にいろいろお世話をいただいた方々

〈女のいる風景〉

素描 〈羽根〉



〈表紙のことば〉

鳥の羽根はいつ描いても美しい私のすてきなモチーフの一つである。この羽根は鳩の羽根をうつした。タブローは10号の横の作品油彩で2000年に描いたもので、顔と手の部分をこの表紙に使用した。羽根と女の形がうまくとけ合ってくれればと思った。

2003年5月 石阪 春生

神戸つ子俱楽部法人人会員ニュース

サントリーレディス オープンゴルフトーナ メント 2003

(株)サントリーがサポートす
る「We Love KO

BE サントリーレディス
オープンゴルフトーナメン
ト2003」が、ジャパン
メモリアルゴルフクラブに
て開催される。

「美・感・遊・創」を大会
コンセプトに、タレントや
著名人が参加する華やかな
アマプロチャリティトーナ
メントが6月11日(水)に
予選・決勝ラウンドが12日
(木)から15日(日)まで
実施される。今年も「We
Love KOBE」を大会
テーマに掲げ、様々なチャ
リティ活動や、「神戸の味
覚」が楽しめる「ランチブ
ラザ」などを通じて、地域
への貢献活動を行っていく。



2002年度優勝者坂口貴代選手



OSAKA CUPイメージ写真

■お問合せ サントリー

レディスオープン事務局
☎ 06-6346-1087

チケットブリゼントペア5
組10名。様応募方法はP112
参照「月刊神戸つ子チブレ
ゼント係」まで

☎ 078-331-2795

ボルン／大阪ダブルハンド ヨットレース推進協議会及 びJSAF外洋内海の主催

で開催。1987年に第1
回目が開催されたのをきっ
かけに、それ以後4年ごと
に開催されている。今回で
5回目となる。

■レースに関する詳細は

<http://www.osakacup.com>

「TASAKI OSAKA UP メルボルン／大阪ダブル ハンドヨットレース 2003」 ついに開幕！

田崎真珠(株)がスポンサー

として参画している「TA
SAKI OSAKA CU

P メルボルン／大阪ダブ
ルハンドヨットレース 2

003」が3月15日にオー

ストラリア・メルボルンで
開幕した。このレースは大

阪市が企画し、姉妹都市、
姉妹港であるメルボルン市、
港湾公社の協力の下、メル

ボルン／大阪ダブルハンド
ヨットレース推進協議会及
びJSAF外洋内海の主催

で開催。1987年に第1
回目が開催されたのをきっ
かけに、それ以後4年ごと
に開催されている。今回で
5回目となる。

■レースに関する詳細は
<http://www.osakacup.com>

キリンアートアワード 2003 作品募集！

キリンビール(株)では、芸
術文化支援活動の一環とし
て新鋭アーティストの育成
と支援を目的とした「キリ
ンアートアワード2003」

の作品募集を6月30日まで
行う。最優秀作品には副賞
と作品制作に対する援助が
行われる。「キリンアワード」
は今年で通算14回目を

迎え、新鋭アーティストの
登竜門として広く認知され
るようになり、世界で活躍
するアーティストをも輩出
している。

応募者自身の作品で、20
01年2月以降に制作され
たもの。1応募につき1作
品②作品は未使用のVHS
ビデオテープの始めから15
分以内に収録③出品料、応
募したビデオテープ、写真、
資料などの返却はしない。

■応募期間 2003年2月1
日(土)～6月30日(月)必着

■出品料 1作品3000円

■応募方法 キリンアワー
ド事務局の銀行口座に出品
料を振込の上、必要事項を
記入した応募用紙・作品を
収録したビデオテープなど、
出品料の振込控(コピー可)
を事務局まで送付。

■お問い合わせ
キリンアートアワード事務局
<http://www.kirin.co.jp/art-award>
☎ 03-5454-0728



キリンアートアワード2002受賞作品 東京会場

シンボルとなるスタジオを

総勢250人のモデル、タレントが在籍する神戸で唯一のモデルプロダクションである株式会社ノイエ。神戸のファッショニ情報発信力を高めよう!、と神戸の玄関口でもある新神戸にスタジオをオープンする。



飯田新吾代表取締役社長

飯田新吾(株式会社ノイエ 代表取締役社長)を設立することで、才能あるカメラマンやメーク、スタイルリストの方たちも活躍できる場となるはずです。

人材流出を防ぐことにもなると思うのです。

場所は神戸の玄関口である新神戸の新神戸オリエンタルアベニューの地下1階になります。日本初のガラス張りのスタジオで、ショッピングされている方にも、観光でこられている方にも、撮影している風景を外から見ていただくことができま

す。

さすがファッショニ映像をおこなつても、わざわざ大阪や東京に戻らなければならず、快適な取材環境があるとはいえません。以

前、神戸にスタジオができるは使用するかどうか、というアンケートをとりました。すると、各ファッショニ誌の編集長、ライターは「必ず使います!」と言つて下さいました。

また、本格的なスタジオ



スタジオ完成イメージ



スタジオ・オフィス・レッスン場完備

スタジオ設立に

ご賛同ください!

1協力を願いした内容
(※以下の申から可能なものだけで結構です。)

①神戸でスタジオ・ロケーションコーディネート事業を行うことについての賛同。(協力企業として貴社名をパンフレット等に掲載することの許可)

②スタジオ・ロケーションコーディネート(ロケバス)の利用、もしくは利用者紹介の協力

③スタジオ機材・建設資金として、協賛金の協力(1口10万円からお願い申し上げます)

2 振込先
三井住友銀行 神戸営業部
普通預金 82233598
株式会社ノイエ

3お問合せ先
株式会社ノイエ
代表取締役 飯田新吾
〒651-0094 神戸市中央区琴ノ緒町5-5-2
上東ビル4F
☎(078)265-1750
㈹(078)265-1760
<http://www.noye-kobe.co.jp>

神戸っ子倶楽部法人会員一覧 (平成15年5月現在)

企業名	住所	電話番号	ホームページ
株式会社 アーバン・ヴィレッジ	神戸市中央区神若通4-2-19	078-230-2303	
アサヒビール 株式会社 神戸支社	神戸市中央区栄町通1-1-18	078-333-1301	http://www.asahibeer.co.jp
財団法人 井植記念会	神戸市垂水区青山台1-21-1	078-751-5216	
学校法人 育成学園 神戸国際調理製菓専門学校	神戸市中央区北長狭通4-5-7	078-332-6377	http://www.ikusei.ac.jp/index.html
学校法人 大手前学園	西宮市御茶家所町6-42	0798-34-6331	http://www.otemae.ac.jp/
大森工業 株式会社	神戸市中央区多聞通2-1-3	078-341-7435	
株式会社 オールスタイル総本社	神戸市中央区港島中町6-5-1	078-302-3311	
株式会社 海岸ビルディング	神戸市中央区海岸通3 海岸ビル1-5	078-331-2130	
鐘紡記念病院	神戸市兵庫区御崎町1-9-1	078-681-6111	http://www.kanebo.co.jp/hospital/
カワノ 株式会社	神戸市長田区大道通5-5	078-631-1161	http://www.barclay.jp/index.html
関西電力 株式会社 神戸支社	神戸市中央区加納町6-2-1	078-391-7211	http://www.kepco.co.jp/
北野田開発 株式会社	神戸市垂水区下畠字西砂山301-301	078-753-8888	
キリンビール 株式会社 神戸支社	神戸市中央区御幸通4-1-1	078-251-8151	http://www.kirin.co.jp/
有限会社 建築企画設計事務所 フリーダム	神戸市中央区栄町通6-1-21	078-360-8185	http://www.freedom-shop.com/
神戸北野ユースホステル	神戸市中央区北野町3-12	078-221-4712	http://www.kobe-kitano.net/youth/
神戸商工会議所	神戸市中央区港島中町6-1	078-303-5800	http://www.kcci.hyogo-iic.ne.jp/
株式会社 神戸新聞社	神戸市中央区東川崎町1-5-7	078-362-7100	http://www.kobe-np.co.jp/index.html
神戸ダイヤサービス 株式会社	神戸市中央区東川崎町1-8-5	078-360-5000	http://www.3605000.co.jp/topindex.htm
神戸地下街 株式会社	神戸市中央区三宮町1-10-1 神戸交通センタービル8F	078-391-4025	http://www.kobe-chikagai.co.jp/welcome-j.html
株式会社 神戸風月堂	神戸市中央区元町通3-3-10	078-331-0401	http://www.kobe-fugetsudo.co.jp/
株式会社 神戸ポートビアホテル	神戸市中央区港島中町6-10-1	078-302-1111	http://www.portopia.co.jp/
株式会社 神戸マツダ	神戸市兵庫区東柳原町3-10	078-671-5205	http://www.mazda-hgr.co.jp
株式会社 神戸サンセンター・プラザ	神戸市中央区三宮町2-11-1-604 サンセンター・プラザ西館	078-331-5311	
サントリー 株式会社 神戸支店	神戸市中央区京町80 クリエイト神戸10F	078-322-2611	http://www.suntory.co.jp/
株式会社 新生公司	神戸市中央区元町通1-1	078-391-5859	
信和住宅販売 株式会社	神戸市中央区播磨町49 神戸旧居留地平和ビル3F	078-321-7885	http://www.mansionclub.co.jp/
ダイシンテクノス 株式会社	神戸市兵庫区本町1-4-21	078-681-2231	http://www.daishin-prn.co.jp/
タカハシパール 株式会社	神戸市中央区山本通1-6-20	078-221-0075	http://www.takahashi-pearl.co.jp/
高松建設 株式会社 神戸営業支店	神戸市中央区御幸通6-1-20 三宮山田東急ビル	078-242-1717	http://www.takamatsu-const.co.jp/
田崎真珠 株式会社	神戸市中央区港島中町6-3-2	078-302-3321	http://www.tasaki.co.jp/

企業名	住所	電話番号	ホームページ
株式会社 築港	神戸市中央区海岸通3 海岸ビル	078-391-6671	http://www.chikko.co.jp/
辻尾産業 株式会社	神戸市北区南五葉1-2-4	078-592-1002	
東亜外業 株式会社	神戸市兵庫区西出町2-4-12	078-681-1111	
トマティスリスニングセンター神戸 有限会社 ティ・エル・アイ	神戸市中央区中山手通4-1-14 山の手シャルマンビル4F	078-392-3314	http://www.tli-tomatiskobe.com/
株式会社 ドンク	神戸市東灘区田中町3-19-14	078-441-2041	http://www.donq.co.jp/
ネットヨタ兵庫 株式会社	神戸市中央区栄町通7-1-3	078-371-7270	http://www.netz-fonte.net/
株式会社 ノイエ	神戸市中央区琴ノ緒町5-5-2 上東ビル4F	078-265-1750	http://www.neue-kobe.co.jp/
株式会社 日の出タクシー	神戸市兵庫区三川口町1-3-4	078-671-7285	http://www2.117.ne.jp/~hinodet/indexnew.htm
兵庫トヨタ自動車 株式会社	神戸市中央区磯波通4-2-12	078-252-2815	http://www.hyogotoyota.co.jp/
株式会社 ファミリア	神戸市中央区相生町1-1-21	078-360-1234	http://www.familiar.co.jp/
株式会社 フェリシモ	神戸市中央区浪花町59	078-325-5555	http://www.felissimo.co.jp/
株式会社 フットテクノ	神戸市中央区元町通5-2-8	078-351-1116	http://www.kaorino-chikara.com/foottechno/
株式会社 ポート・リハビリサービス	神戸市中央区中山手通4-1-11 広川ビル3F	078-392-1101	http://www.port-rs.co.jp/
株式会社 ホテルオーネクラ神戸	神戸市中央区波止場2-1	078-333-0111	http://www.kobe.hotelokura.co.jp/index2.htm?
宮内法律事務所	神戸市中央区三宮町2-6-4 宮内三宮ビル	078-332-5015	
元町商店街連合会	神戸市中央区元町通3丁目13-1	078-391-0831	http://www.kobe-motomachi.or.jp/
モンレーブみさ	神戸市中央区中山手通4-1-14	078-332-0885	
UCC上島珈琲 株式会社	神戸市中央区港島中町7-7	078-304-8888	http://www.ucc.co.jp/
横山倉庫 株式会社	神戸市中央区磯上通8-1-29	078-231-5311	
寄神建設 株式会社	神戸市兵庫区七宮町2-1-1	078-681-3120	http://www.yorigami.co.jp/
有限会社 老祥記	神戸市中央区元町通2-1-14	078-331-7714	http://www.roushouki.com/
株式会社 ロック・フィールド	神戸市東灘区魚崎浜町27-40	078-435-2800	http://www.rockfield.co.jp/
若栄クリニック	神戸市中央区花隈町3-3 メトロハイツ花くまビル2F	078-360-1152	http://www.wakae.msn.gr.jp/
和田興産 株式会社	神戸市中央区栄町通4-2-13	078-361-1100	http://www.wadakohsan.co.jp/

「神戸っ子俱楽部」ではただいま法人・個人会員を募集しています

■会費……… 法人会費 月会費 一口 5,000円

年会費として一括お支払いの場合には、年会費
60,000円のところ一口50,000円とさせていただきます。

個人会費 年会費 10,000円

■特典………

- ・会費の一部を文化催事などへの招待、もしくは優待による参加費に充当します。
- ・会員のみなさんの情報を「Members' News」のコーナーで紹介します。

・毎月ご希望の冊数の「月刊神戸っ子」を月5冊を限度にお届けします。(法人会員のみ／個人会員は月1冊)

■お申し込み・お問い合わせ先……………

(有)月刊神戸っ子「神戸っ子俱楽部法人会員」係
☎078-331-2246